

第151回 定時株主総会



Nissan Chemical
CORPORATION
日産化学株式会社

報告事項

経済環境

国内景気

新型コロナウイルス感染拡大
大幅なマイナス成長

個人消費の低迷長期化など

海外

期の後半
一部持ち直しの動き

厳しい状況継続

当社グループの事業

化学品セグメント

基礎化学品が減収

農業化学品セグメント

フルラネル 減収
「アルテア」等 売上に貢献
前年並み

機能性材料セグメント

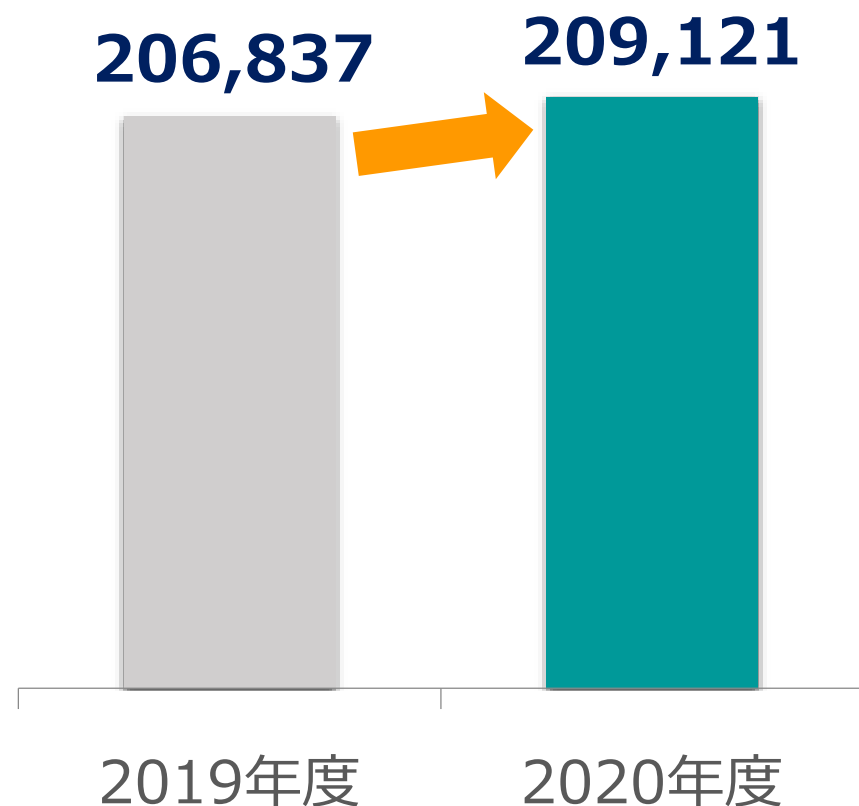
ディスプレイ材料、
半導体材料が
順調に推移

医薬品セグメント

ファインテックは増収
創薬事業は減収

売上高

2,091億21百万円



過去最高

前期比

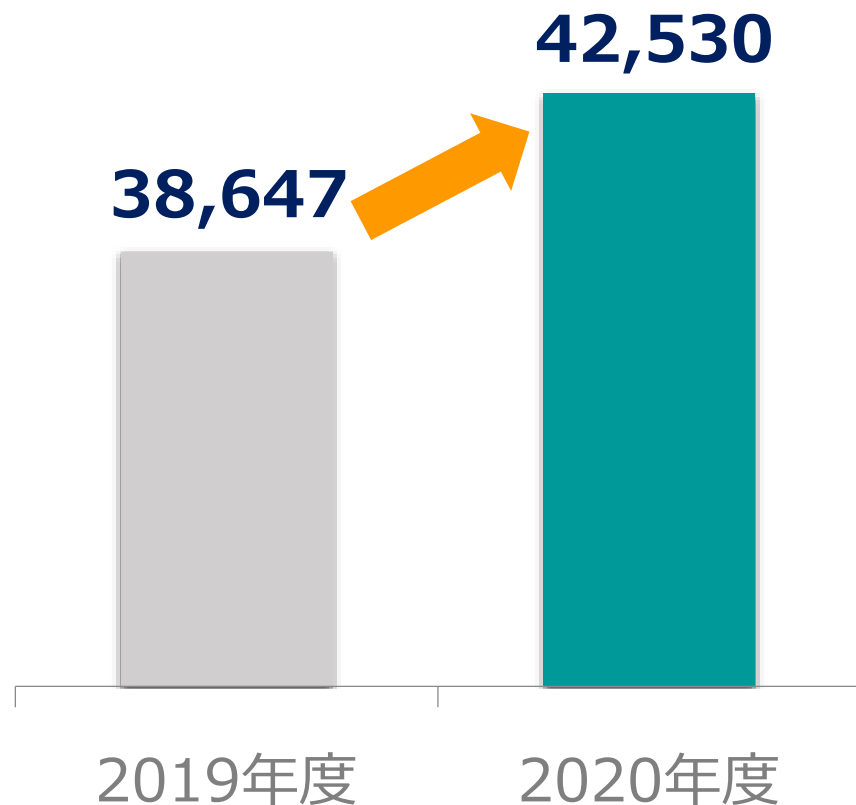
22億83百万円増

1.1%



営業利益

425億30百万円



過去最高

前期比

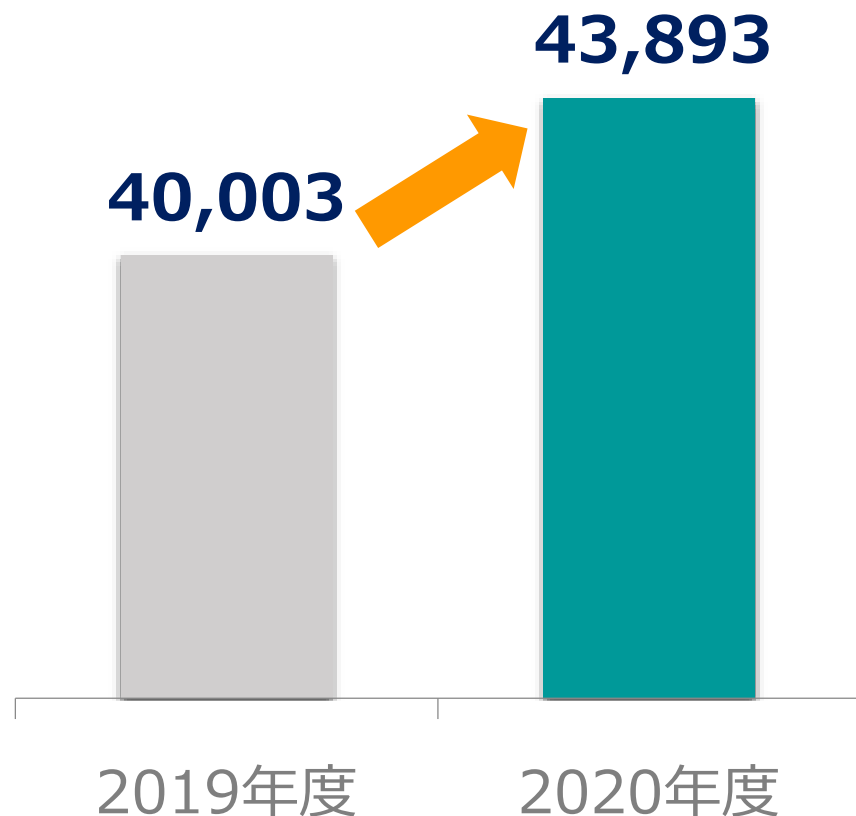
38億83百万円増

10.0%



経常利益

438億93百万円



過去最高

前期比

38億89百万円増

9.7%

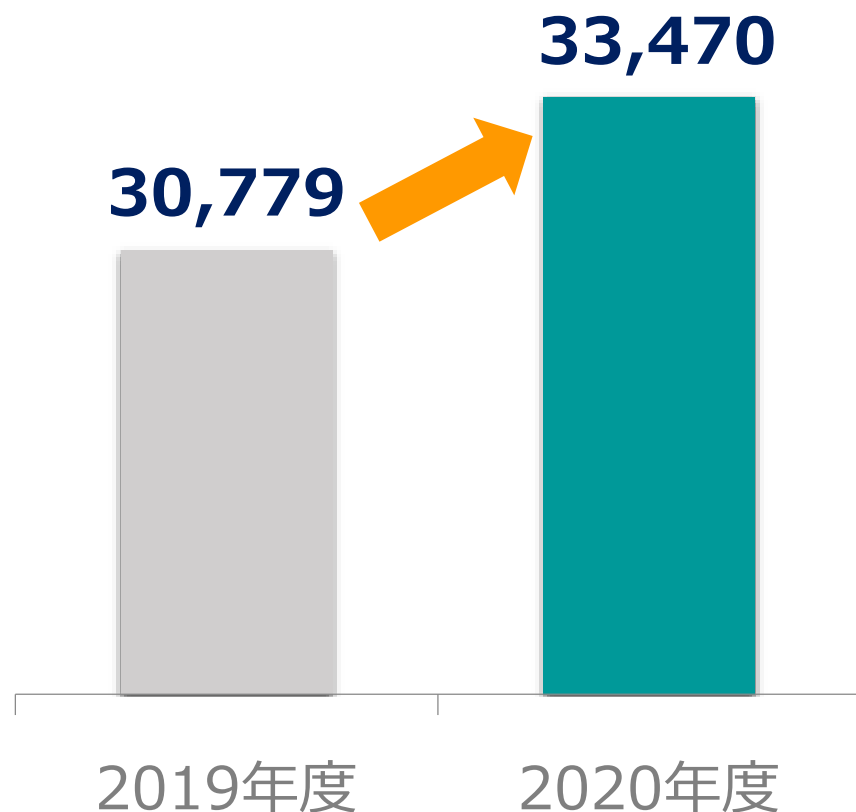


当期における業績

単位：百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

334億70百万円



過去最高

前期比

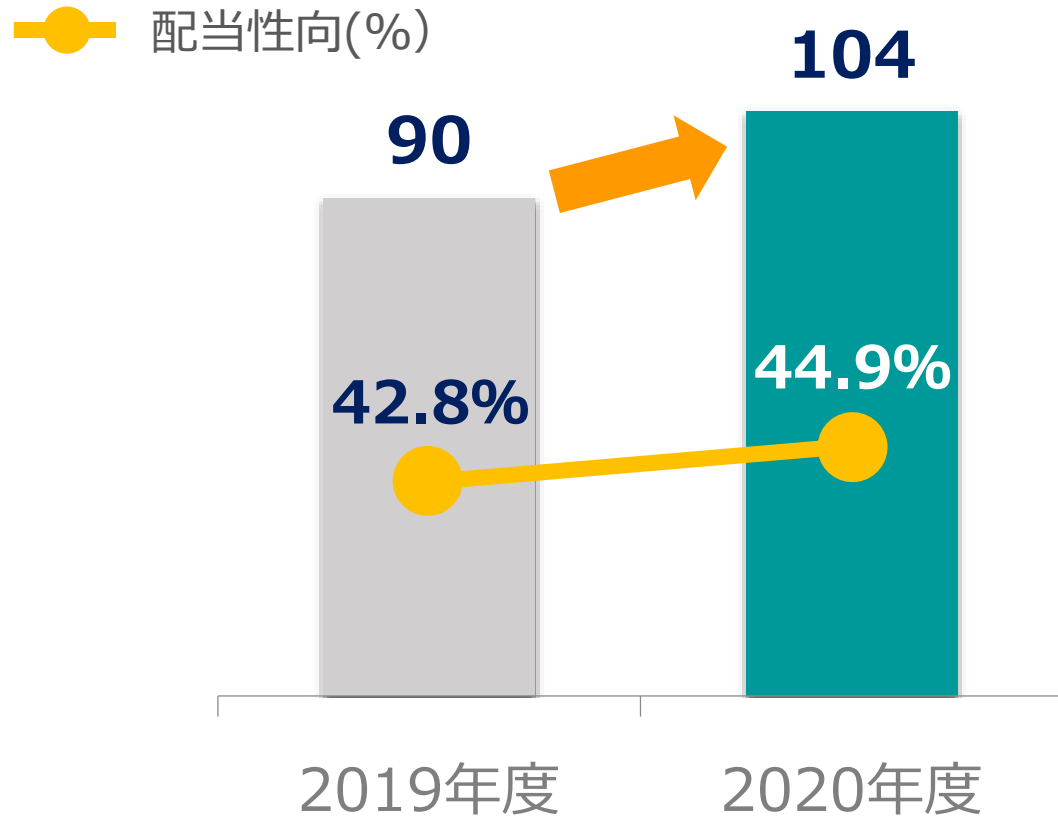
26億90百万円増

8.7%



年間配当金

1株につき 104円 (予定)



前期比
14円増配↑

主要な経営指標

売上高営業利益率

20.3%

1.6ポイント↑

自己資本利益率(ROE)

17.5%

0.6ポイント↑

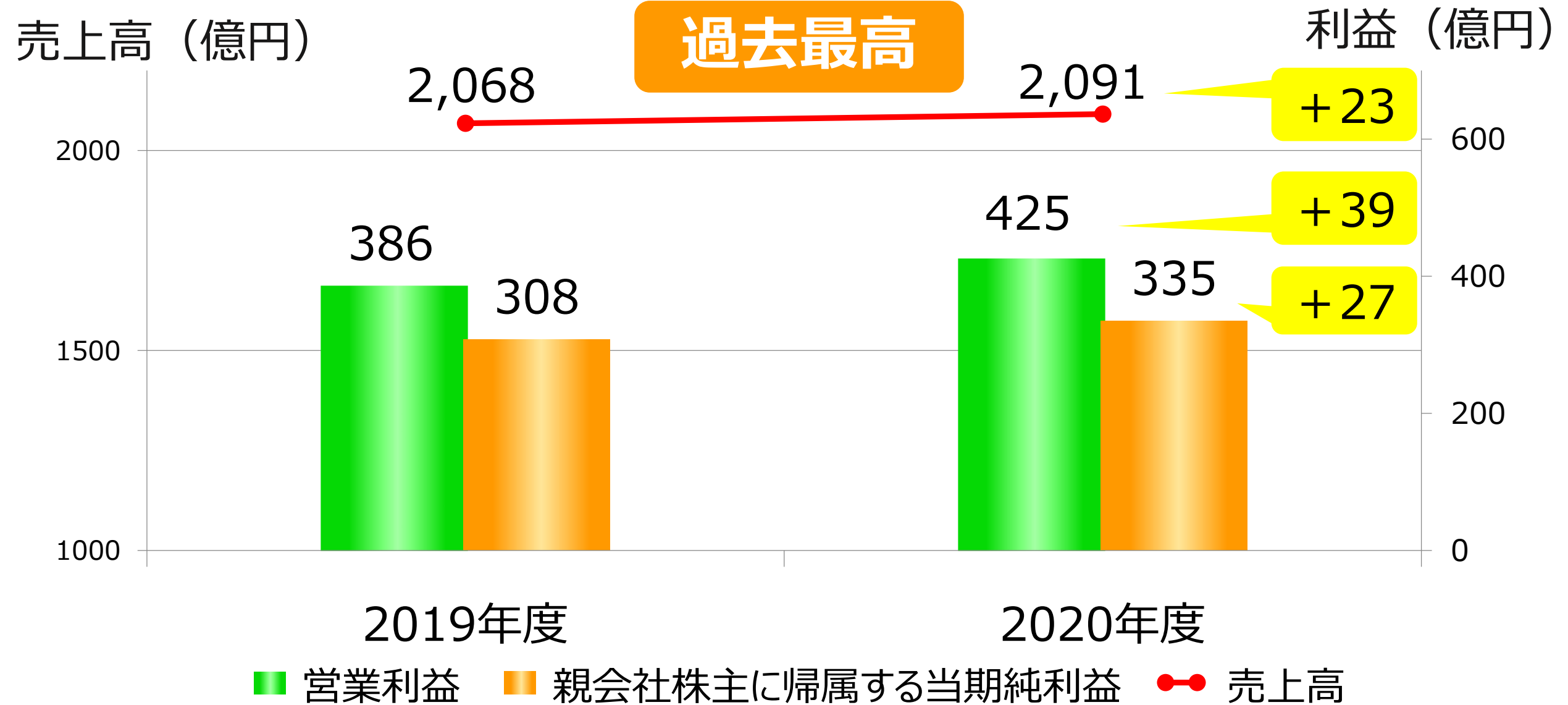
1株当たり当期純利益(EPS)

231.73円

21.64円↑

対処すべき課題

業績推移



事業環境

基本戦略に基づく
施策を着実に実行

事業存続を脅かす
あらゆるリスクへの備え

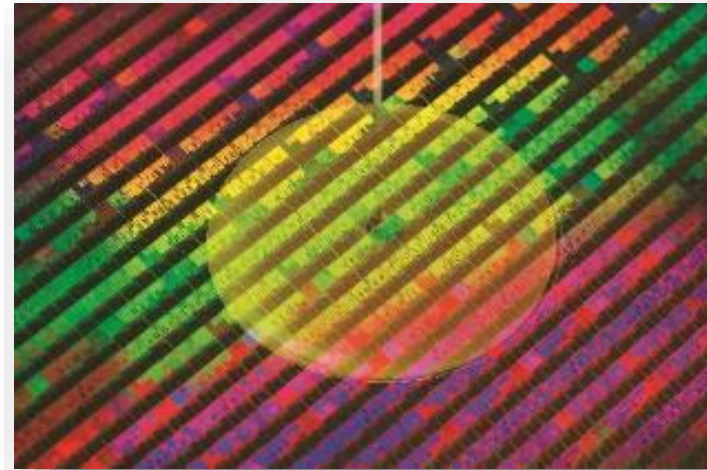
激しく変化する
事業環境に対応

強固な収益基盤の確立
さらなる企業価値の向上

第1の戦略「成長の源泉となる製品の利益拡大」

機能性材料

「サンエバー」引き続き増収
半導体用反射防止コーティング材(ARC[®])大幅に伸長



※ ARC[®]はBrewer Science, Inc.の登録商標

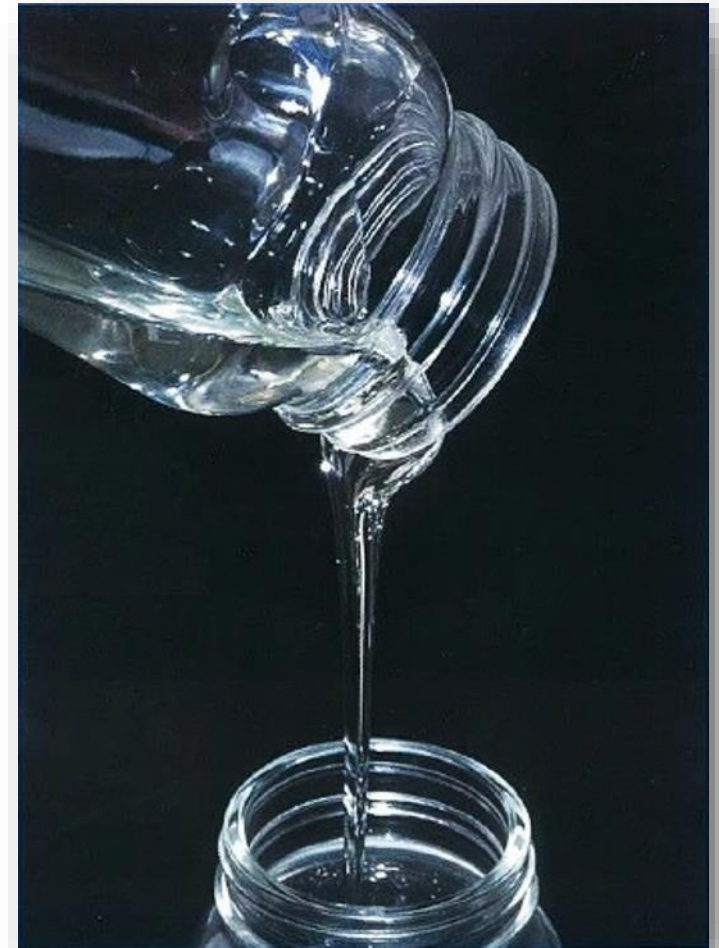
第1の戦略「成長の源泉となる製品の利益拡大」

化学品

シアヌル酸製造設備を増強



「テピック」等の製品拡販に注力



「テピック」液状グレード

第1の戦略「成長の源泉となる製品の利益拡大」

農業化学品

農薬製品のポートフォリオ拡充

殺菌剤キノキシフェン買収



殺菌剤マンゼブ買収



インドに会社設立



Nissan Bharat Rasayan PVT. LTD.

第2の戦略「新製品創出力の強化」

新領域を見据えた研究基盤の強化

製造コストの低減、環境負荷の低下に寄与する
革新的なペプチド製造技術の開発に成功

医薬品

ルクサナバイオテック株式会社に出資
市場を見据えた研究テーマの選択と集中、人員配置の見直し

第3の戦略「社会・市場の変化への対応力向上」

マテリアリティ（重要課題）

人々の豊かな暮らしに
役立つ新たな価値の提供

食糧問題への貢献に向けて
2021年度農薬売上高は2018年度比18%増を計画

自社の事業基盤の強化

健康推進施策を推進、5年連続で
「健康経営優良法人 ホワイト500」に選定

レスポンシブル・ケア活動
の継続的強化

温室効果ガス排出量削減の長期目標を設定
(2030年度までに2018年度比30%削減)

第3の戦略「社会・市場の変化への対応力向上」

事業環境の激しい変化への対応

- 2020年7月 デジタル推進室の新設
- 既存事業の損益改善
- テレワークなど従業員が最大の力を発揮できる環境の提供

第3の戦略「社会・市場の変化への対応力向上」

コーポレートガバナンス強化

社外取締役を1名増員し、4名体制を予定



中長期的な企業価値の向上に向け、取締役会による
独立かつ客観的な経営監督の実効性を高める

次期中期経営計画および新長期経営計画

Vista2021の諸施策は着実に進捗



Vista2021最終年度
目標達成に最後まで邁進

次期中期経営計画

2050年に視座を高めた
新長期経営計画

次期中期経営計画および新長期経営計画

当社グループが将来進むべき道

温暖化対策

人口問題等地球規模での変動

デジタル社会の到来

多様化が進む人の価値観



変貌を遂げる未来を
見据えた成長戦略

強固な事業ポートフォリオの
確立

CSR経営の積極的推進を図り、企業価値を高める

企業理念

優れた技術と商品・サービスにより、
環境との調和を図りながら、社会に貢献する

経営の健全性・透明性向上

コンプライアンスの徹底

環境への一層の配慮

社会貢献活動の推進



すべてのステークホルダーから信頼される企業グループの実現



Nissan Chemical
CORPORATION

日産化学株式会社